制作作品の評価基準

APS複利計算から、PythonまたはJavaScriptのプログラム

# 本資料の目的

本資料は、APS複利計算（Python版・JavaScript版）をベースに制作したプログラムを評価する際の基準を示すものです。三観点（知識・技能、思考・判断・表現、態度）別に記載しています。

# 使用上の注意

本資料が示す評価の基準は絶対的なものではありません。生徒・授業・学校の事情や学習状況に合わせて、適宜調整をしてください。

# 評価基準

## 知識・技能の観点の評価基準

APSの「カスタマイズ①」で取り上げられている内容を実現しているとき、「おおむね満足できる」（B）としています。HTMLとプログラムをそれぞれ変更しますが、整合するようにしなければ正しく動作しないため、知識・技能を確認することができます。

さらに、「カスタマイズ②」で取り上げられている内容を実現しているとき、「十分満足できる」（A）としました。

|  |  |
| --- | --- |
| 評価 | 評価の視点 |
| 「おおむね満足できる」状況（B） | * HTMLを用いて入力欄を作成する（JavaScript版）/プログラムに命令を追加して入力項目を追加する（Python版）ことができる。
* ユーザーが入力した値をプログラムで取り出し、操作することができる。
* 繰り返し制御（for文）の条件式を適切に書き換えることができる。
 |
| 「十分満足できる」状況（A） | * HTMLを用いて入力欄を作成する（JavaScript版）/プログラムに命令を追加して入力項目を追加する（Python版）ことができる。
* ユーザーが入力した値をプログラムで取り出し、操作することができる。
* 繰り返し制御（while文）の条件式を適切に書き換えることができる。
 |

## 思考・判断・表現の観点の評価基準

テーマに基づいた一連のコンテンツが完成できたら、「おおむね満足できる」（B）としました。

さらに、テーマにあった工夫を考え、適切に判断して表現できた場合に、「十分満足できる」（A）としました。

|  |  |
| --- | --- |
| 評価 | 評価の視点 |
| 「おおむね満足できる」状況（B） | * 自ら決めた作品のテーマについて制作を行い、一定の動作をするプログラムが完成している。
 |
| 「十分満足できる」状況（A） | * テーマに合うように、繰り返しの制御を工夫している。
 |

## 主体的に学習に取り組む態度の観点の評価基準

コード作成とその結果の確認を繰り返し、粘り強く制作にあたっていることと、技術情報を自ら調べ、試用して、作品に取り入れようとしていることを評価するようにしました。

|  |  |
| --- | --- |
| 評価 | 評価の視点 |
| 「おおむね満足できる」状況（B） | * プログラムを編集した後、反映された結果を確認して、編集内容と結果から、技術・知識を理解しようとしている。
 |
| 「十分満足できる」状況（A） | * 作成したプログラムが思ったような結果をもたらさないときに、粘り強く原因を調べ、意図通りの動作にしようとしている。
 |

※「態度」の観点の性質上、制作された作品ではなく、制作中の態度の評価になります。授業中の観察や、ワークシートに記録された内容を評価の材料としてください。